プレスリリース

2026 年 11 月 13 日

マレリ、モータースポーツ・インテリジェンス向けの新データ基盤を「Professional MotorSport World Expo 2026」で発表

マレリは、11 月 11-12 日にドイツのケルンで開催された「プロフェッショナル・モータースポーツ・ワールド・エキスポ（PMW エキスポ）2026」において、モータースポーツ・インテリジェンス向けの新たなデータ基盤「ORION」を、レース界向けの最新技術とともに発表しました。

ORION は、断片化されたモータースポーツ・データを共有可能かつ説明可能な知見へと変換するように設計された、モータースポーツ・インテリジェンス向けのデータ・クラウド AI プラットフォームです。異種データ・ソースを接続し、クラウド上で情報を構造化・管理し、人工知能によってデータを充実させることで、ORION は分析、意思決定、ストーリー・テリング、ファン・エンゲージメント、および監査可能なデータ・サービスを支える信頼性の高いデータ基盤を提供します。これにより、チーム、連盟、プロモーター、メディア組織、規制対象事業者は、それぞれの異なる視点を維持しつつ、同一の整合性のあるデータ基盤に基づいて業務を行うことが可能になります。

ORION の導入は、マレリ・モータースポーツが車両技術やテレメトリーから、より広範なモータースポーツ・データ・エコシステムへと進化する上でのさらなる一歩となります。ORION は、単体のアプリケーションやダッシュボードではなく、データを接続し文脈を与える基盤層として機能し、複雑さを理解しやすい形に変えつつ、人間の意思決定を置き換えるのではなく、それを支援します。

ORION に加え、プロフェッショナル・モータースポーツ・ワールド・エキスポ（ブース番号 4068）のマレリのブースでは、ECU やデータ・ロガー、ダッシュボード、テレメトリー・システム、車両制御電子機器、燃料システム、点火技術、パワーエレクトロニクス、そして二輪および四輪のレース用途向けのソリューションに至るまで、先進的なモータースポーツ技術の幅広いポートフォリオを展示しています。

展示製品には、高感度グローバル・シャッターを搭載し、500 fps のフル HD 録画が可能な「HSC 130 ハイ・スピード・カメラ」、グローバルな接続性を備えたオール・イン・ワン型テレメトリー・ソリューション「SA-140 LTE スマート・アンテナ」、RTK マルチバンド GNSS を搭載した 6 軸完全冗長型慣性プラットフォーム「IPS 290」などが含まれます。

また、本展示では、VEC シリーズの車両エッジ・コントローラーに代表される、マレリ・モータースポーツによる AI 対応エッジ・コンピューティングの継続的な開発も紹介されます。2024 年に業界から高い評価を受けた「VEC 480」に加え、コンパクトな「VEC 200」および「VEC 320」も展示され、マレリの AI 搭載車両エッジ・アーキテクチャが様々なレース用途に拡大されています。

ラインナップを締めくくるのは、2025 年の PMW Expo で評価を受けた、マレリ・モータースポーツの受賞歴を誇る電動フロント・パワートレイン・ソリューション「REV-500」です。今年のブースへの出展は、新世代のデータ、コネクティビティ、インテリジェンス・ソリューションと並行して、高性能な電動化への同社の継続的な取り組みを改めて強調するものです。

このエキスポで展示された技術は、マレリ・モータースポーツがレース界全体で幅広い存在感を示していることを反映しており、当社は二輪および四輪のモータースポーツにおいて、トップチームや主要選手権に部品を供給しています。

訳注：当文書は 2026 年 11 月 13 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて
マレリは自動車業界をリードするグローバルなモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモビリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約 40,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに 150 以上の施設と研究開発センターを有しています。